

これまでの期中の評価を  
踏まえた対応

# チェックシートイメージ図(1)

チェックシートは、これまでの期中評価委員会の指摘事項等を踏まえ作成し、これまでに期中評価を受けた契約地が対象となる。

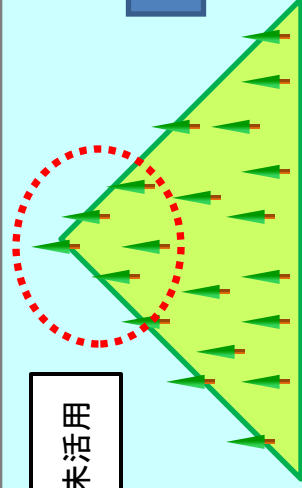
## 指摘等

地帯時に保残木を適度に存置するモザイク施業や、保護樹帯等を積極的に配置することによって、雪害、寒風害、干害等の気象災害などを減少させる森林の造成に努め、事業コストの縮減を図る。

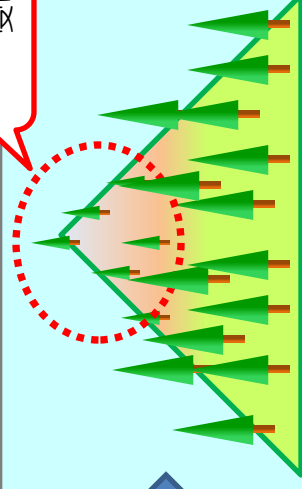
## 例

### 新植の場合の活用方法

チェックシート未活用

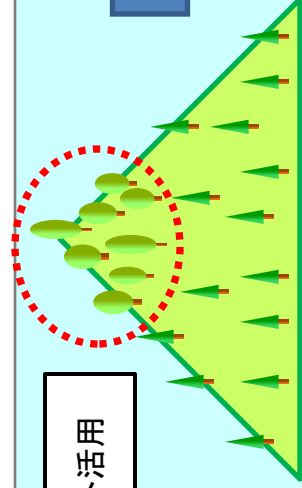


一斉単層林施業

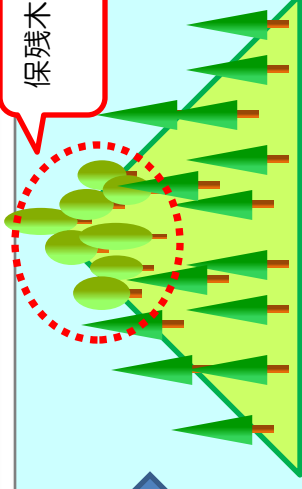


今までは寒風害等の被害を受けていたエリア

チェックシート活用



針広混交林施業



保残木を存置し気象災害などの防止に努める

# チェックシートイメージ図(2)

チェックシートは、これまでの期中評価委員会の指摘事項等を踏まえ作成し、これまでに期中評価を受けた契約地が対象となる。

## 指摘等

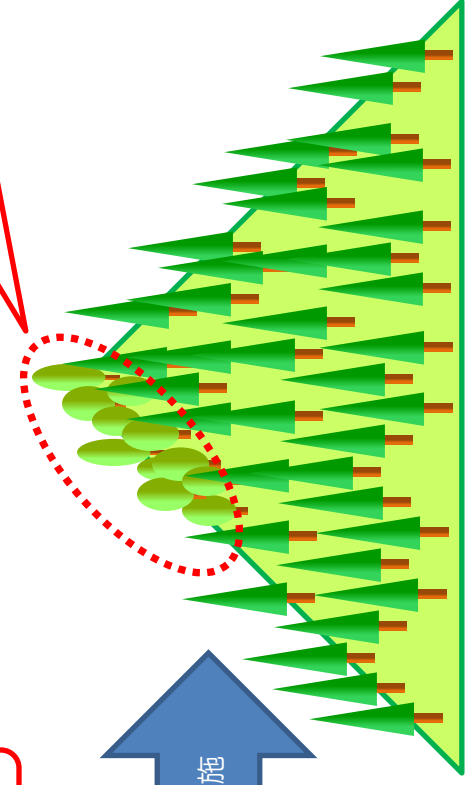
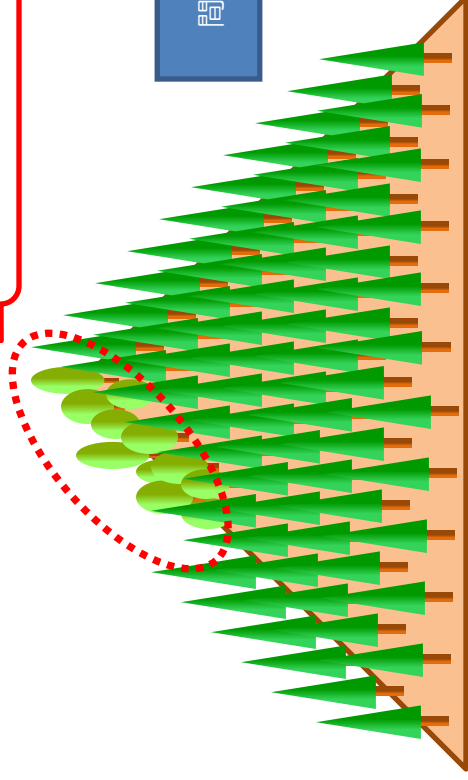
保育施策の実施に当たっては、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更し、生育不良の一部の林分については、当分の間必要最小限の保育等にとどめるなど、施策対象地を厳選し、事業コスト縮減等に努める。

## 例

間伐の活用の方法

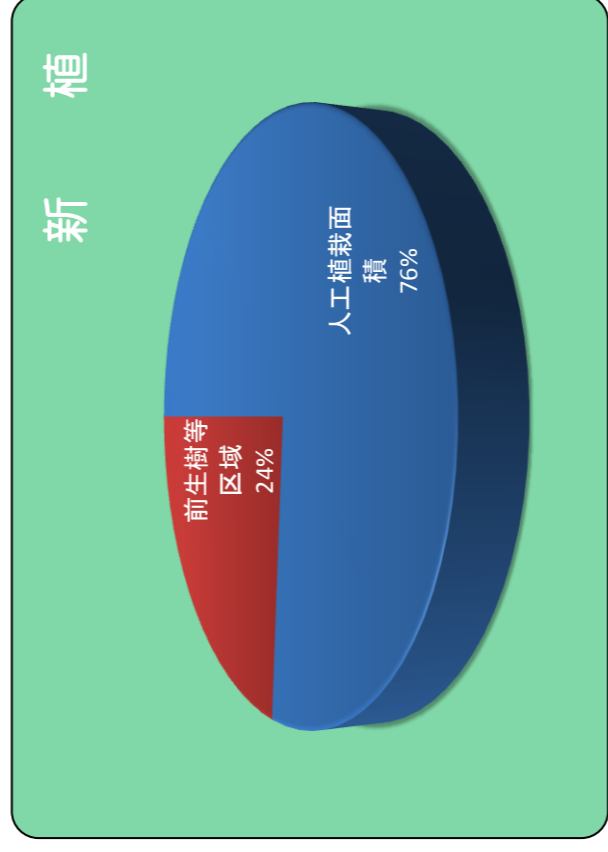
広葉樹林化した一部の林分

侵入広葉樹の育成に重点をおいた施策へ変更

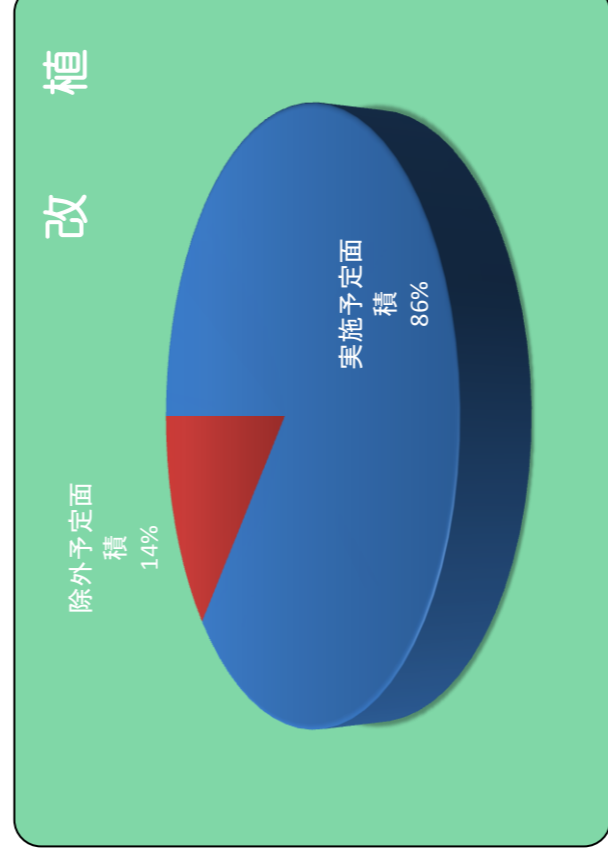


平成22年度  
期中評価チェックシート集計表

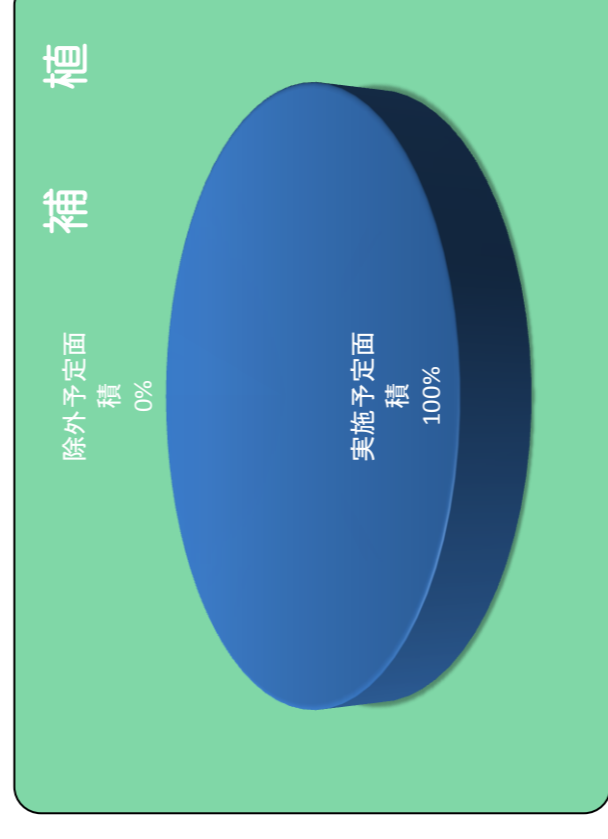
整備局	新植			改植			補植		
	人工植栽面積	前生樹等区域	計	被害面積	実施予定面積	除外予定面積	被害面積	実施予定面積	除外予定面積
	東北北海道	109.06	29.04	138.10	98.61	88.61	10.00		
関東	49.90	10.83	60.73	13.44	13.44				
中部	6.70	3.79	10.49	29.03	24.19	4.84			
近畿北陸	26.89	9.61	36.50	42.28	34.67	7.61	19.23	19.23	
中国四国	114.15	40.76	154.91	28.63	22.23	6.40	105.05	105.05	
九州	23.36	8.78	32.14	3.84	3.48	0.36	4.76	4.76	
全国計	330.06	102.81	432.87	215.83	186.62	29.21	129.04	129.04	
割合	76%	24%	-	-	86%	14%	-	100%	



【新植】  
新植を行う際に当たっては、良好な生育が見込まない区域を前生樹等区域として存置するなどして、雪害、寒風害、干害等の気象災害などを極力受けけない森林造成に努めた。



【改植】  
改植が必要となった区域の主な被害原因としては獣害であり、その箇所については、防護柵の設置等を実施し、良好な生育が見込まない区域については侵入広葉樹を活用し植栽面積から除外するなど、適切な対応策を講じた上で植栽を実施した。

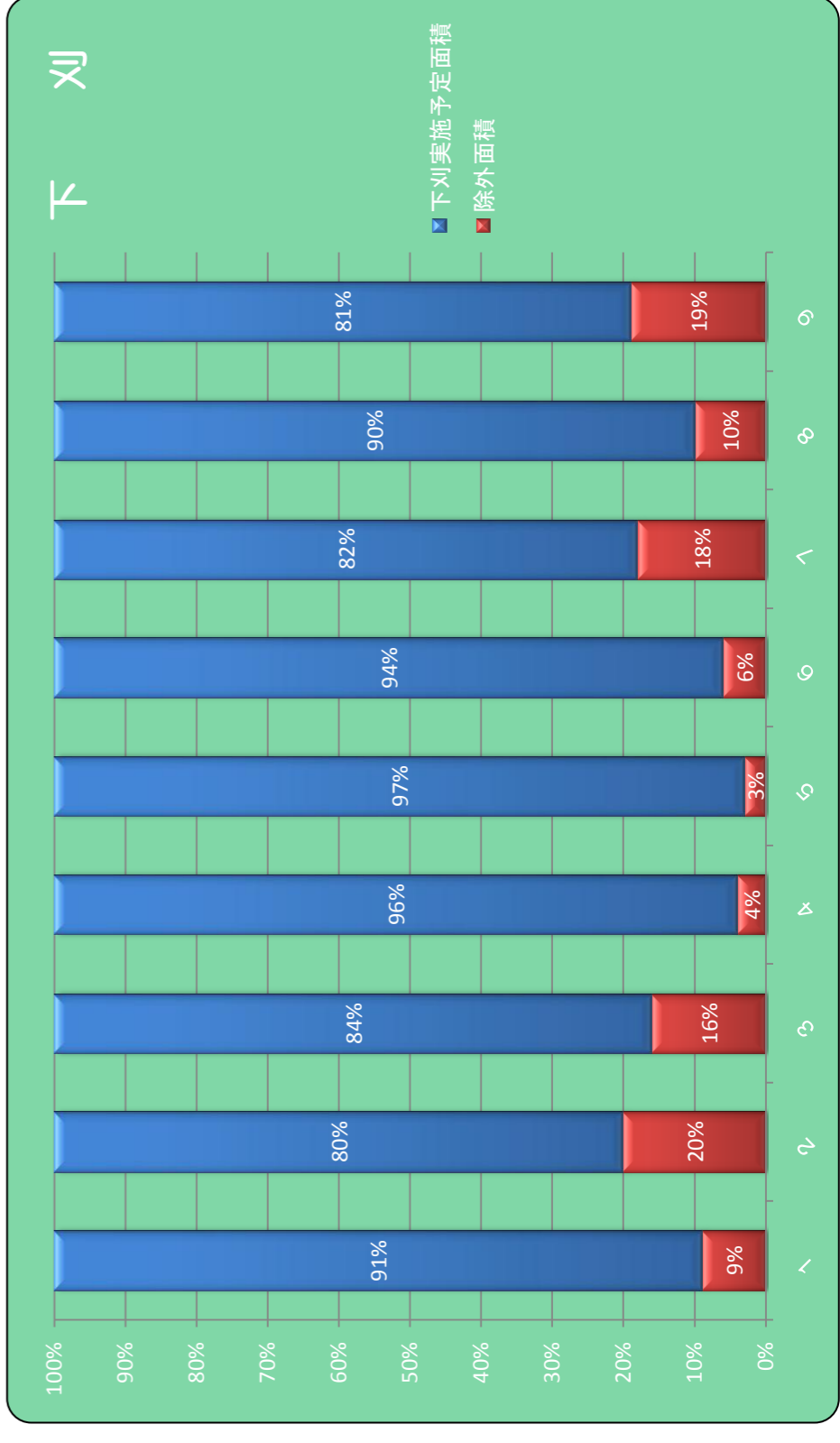


【補植】  
補植が必要となった区域の主な被害原因としては干害であり、その箇所については、樹種転換をするなど、適切な対応策を講じた上で植栽を実施した。

平成22年度  
期中評価チェックシート集計表

整備局	下刈											計
	林 齢	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生以上		
東北北海道	人工植栽面積	42.01	311.35	607.18	420.62	169.94	230.67	178.13	86.36	264.30	2,310.56	
	実施予定面積	42.01	287.95	451.03	401.62	164.72	214.97	176.85	81.01	214.73	2,034.89	
関東	人工植栽面積	1.49	83.30	62.41	46.79	56.68	31.70	12.63	0.39	5.18	300.57	
	実施予定面積	1.49	70.63	62.41	46.79	56.68	31.70	11.83	0.39	4.02	285.94	
中部	人工植栽面積		86.25	85.09	49.58	28.06	36.29	4.07	16.54	7.60	313.48	
	実施予定面積		77.44	81.27	45.43	28.03	30.71	3.45	13.52	3.00	282.85	
近畿北陸	人工植栽面積	9.30	109.59	40.70	120.25	88.82	156.21	96.42	24.58	25.40	671.27	
	実施予定面積	9.30	79.85	40.50	116.15	85.64	150.98	76.52	24.58	22.90	606.42	
中国四国	人工植栽面積	13.01	654.70	302.18	228.10	194.26	373.41	95.20	11.65	1.29	1,873.80	
	実施予定面積	7.18	476.24	283.74	226.49	193.09	356.55	78.19	5.71	1.29	1,628.48	
九州	人工植栽面積		73.87	40.36	59.14	66.51	94.03	69.39	2.00	11.70	417.00	
	実施予定面積		61.95	35.43	51.96	58.26	81.46	26.44	1.94	8.50	325.94	
全国計	人工植栽面積	65.81	1,319.06	1,137.92	924.48	604.27	922.31	455.84	141.52	315.47	5,886.68	
	実施予定面積	59.98	1,054.06	954.38	888.44	586.42	866.37	373.28	127.15	254.44	5,164.52	
除外面積		5.83	265.00	183.54	36.04	17.85	55.94	82.56	14.37	61.03	722.16	
林齢別除外割合		9%	20%	16%	4%	3%	6%	18%	10%	19%	-	

注：7年生以上の下刈については、補植の実施により部分的により植栽木の林齢が若い箇所等を対象に実施している。

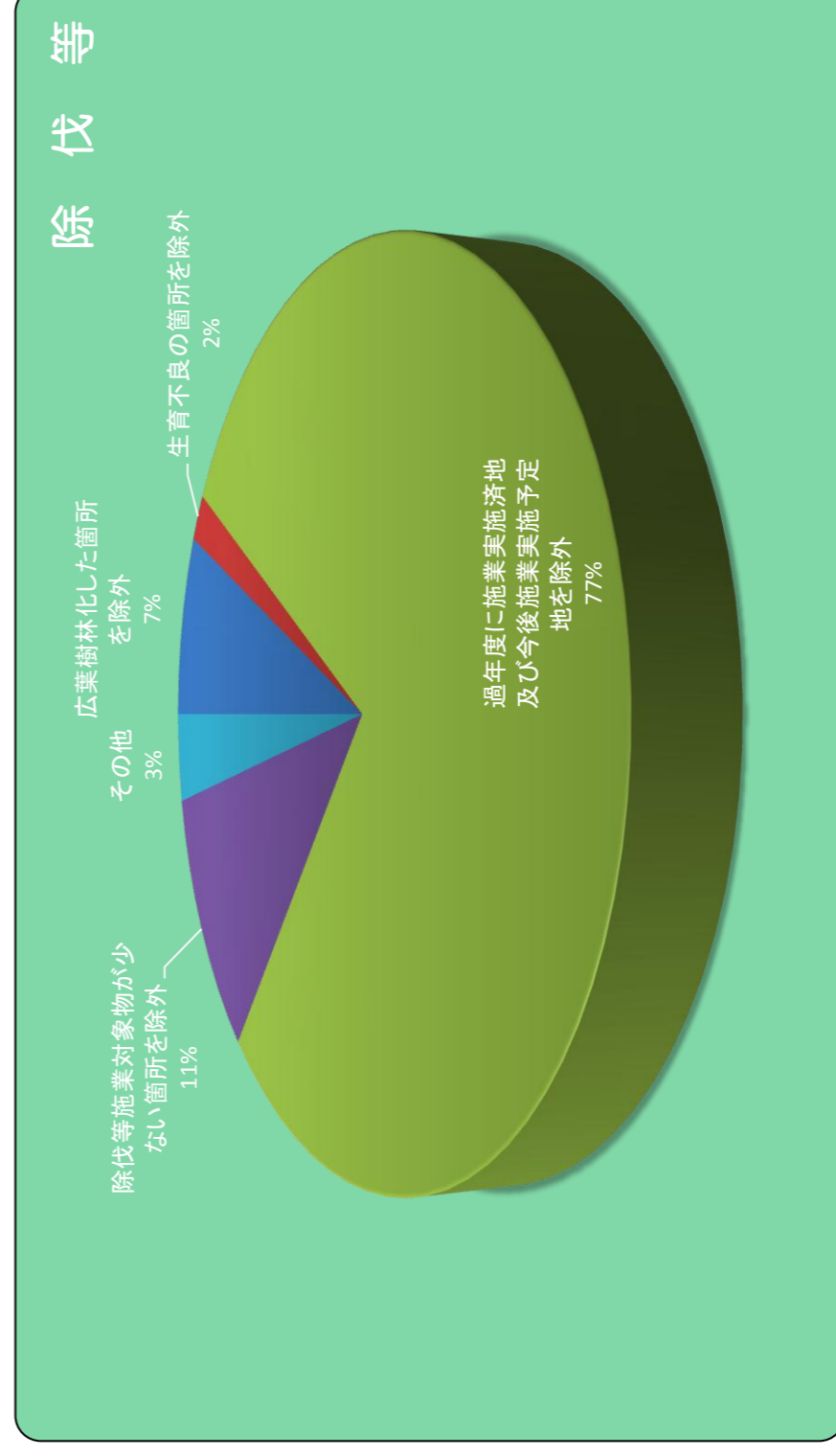


【下刈】  
下刈の実施に当たっては、生育の良い箇所や下刈対象物が少ない箇所を除外するなど、画一的に実施することなく厳選した。  
なお、1～3年生の下刈については、主に、2回刈の実施を精査。

平成22年度  
期中評価チェックシート集計表

整備局	除伐等										
	植栽地の現況				実施予定面積	対応策別除外予定面積					計
	生育良好	生育不良	広葉樹林化	計		1	2	3	4	5	
東北北海道	5,317.42	30.75	187.18	5,535.35	2,632.86	187.18	30.75	2,327.67	341.73	15.16	2,902.49
関東	2,067.28	7.39	124.98	2,199.65	1,049.23	124.98	7.39	809.09	207.95	1.01	1,150.42
中部	2,783.93	48.12	103.18	2,935.23	1,816.30	103.18	48.12	908.90	26.32	32.41	1,118.93
近畿北陸	3,015.06	36.46	86.33	3,137.85	1,809.38	86.33	36.46	1,035.85	86.30	83.53	1,328.47
中国四国	6,174.94	41.87	116.71	6,333.52	4,555.80	116.71	41.87	1,390.79	94.21	134.14	1,777.72
九州	3,184.02	6.62	51.23	3,241.87	2,078.62	51.23	6.62	804.59	240.25	60.56	1,163.25
全国計	22,542.65	171.21	669.61	23,383.47	13,942.19	669.61	171.21	7,276.89	996.76	326.81	9,441.28
対応策別除外割合	-	-	-	-	-	7%	2%	77%	11%	3%	-

1. 広葉樹林化した箇所を除外 2. 生育不良の箇所を除外 3. 過年度に施業実施済地及び今後施業実施予定地を除外 4. 除伐等施業対象物が少ない箇所を除外 5. その他

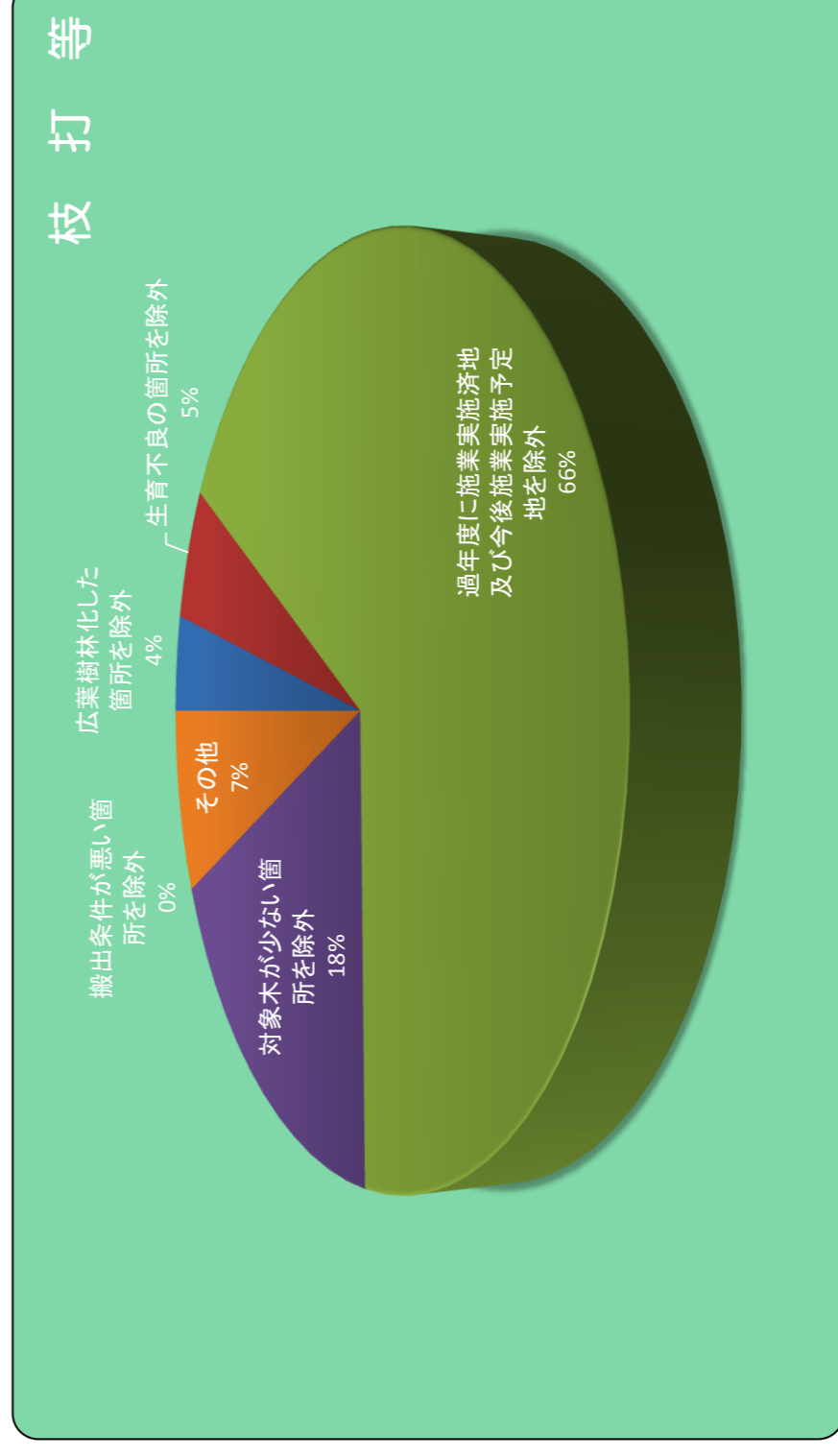


【除伐等】  
 保育施業の実施に当たっては、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施業へ変更し、生育不良の一部の林分については、当分の間必要最小限の保育にとどめるなど施業対象地を厳選した。

平成22年度  
期中評価チェックシート集計表

整備局	裾枝払											
	植栽地の現況					実施予定面積	対応策別除外予定面積					
	生育良好	生育不良	広葉樹林化	計	1		2	3	4	5	6	計
東北北海道	690.24	6.00	8.83	705.07	551.90	8.83	6.00	71.39	65.20		1.75	153.17
関東	258.97	1.33	1.22	261.52	200.69	1.22	1.33	45.52	12.60		0.16	60.83
中部	286.17	0.73	1.30	288.20	185.94	1.30	0.73	48.07	33.72		18.44	102.26
近畿北陸	368.23	16.88	0.61	385.72	221.91	0.61	16.88	132.12	4.60		9.60	163.81
中国四国	906.07	9.71	12.22	928.00	755.44	12.22	9.71	128.29	5.03		17.31	172.56
九州	208.88		1.32	210.20	186.44	1.32		19.45	1.56		1.43	23.76
全国計	2,718.56	34.65	25.50	2,778.71	2,102.32	25.50	34.65	444.84	122.71		48.69	676.39
対応策別除外割合	-	-	-	-	-	4%	5%	66%	18%		7%	-

1. 広葉樹林化した箇所を除外 2. 生育不良の箇所を除外 3. 過年度に施業実施済地及び今後施業実施予定地を除外 4. 対象木が少ない箇所を除外 5. 搬出条件が悪い箇所を除外 6. その他

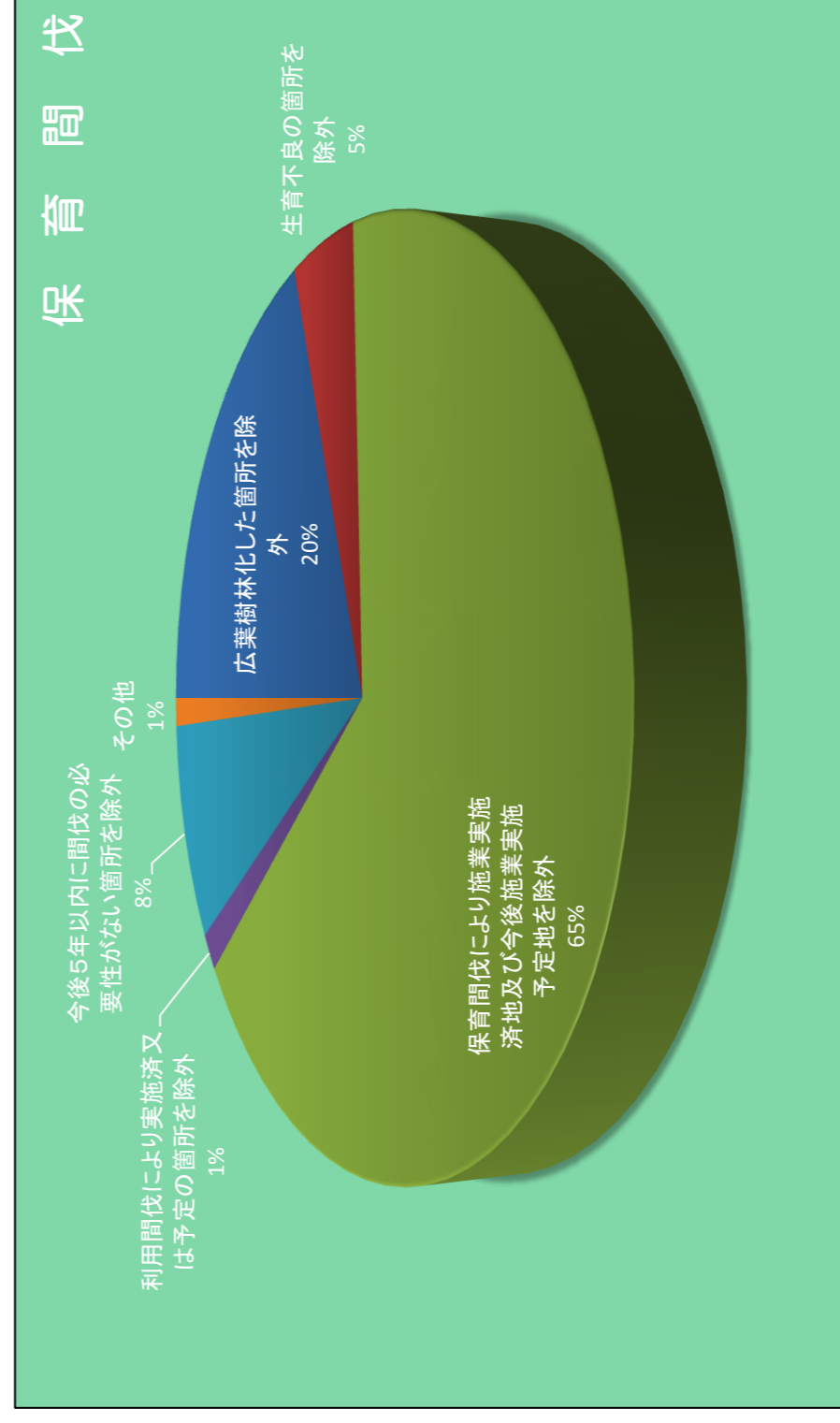


**【裾枝払】**  
 保育施業の実施に当たっては、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施業へ変更し、生育不良の一部の林分については、当分の間必要最小限の保育にとどめるなど施業対象地を厳選した。  
 裾枝払とは、雪圧及びびつる類による被害を防止するために下枝を落とす施業。

平成22年度  
期中評価チェックシート集計表

整備局	保育間伐											
	植栽地の現況				実施予定面積	対応策別除外予定面積					計	
	生育良好	生育不良	広葉樹林化	計		1	2	3	4	5		6
東北北海道	1,375.74	1.47	117.36	1,494.57	595.09	117.32	1.47	688.74	3.52	85.66	2.77	899.48
関東	2,036.10	12.10	554.60	2,602.80	1,050.14	554.60	12.10	676.53	27.63	281.72	0.08	1,552.66
中部	2,905.47	8.41	161.46	3,075.34	2,016.25	161.46	8.41	830.82	5.37	52.68	0.35	1,059.09
近畿北陸	3,699.88	112.67	418.00	4,230.55	2,064.42	418.00	112.67	1,397.50	17.16	177.70	43.10	2,166.13
中国四国	4,398.57	292.47	325.44	5,016.48	2,991.47	325.44	292.47	1,157.40	50.82	155.56	43.32	2,025.01
九州	3,467.35	9.75	284.46	3,761.56	2,015.16	284.46	9.75	1,348.14	35.08	53.49	15.48	1,746.40
全国計	17,883.11	436.87	1,861.32	20,181.30	10,732.53	1,861.28	436.87	6,099.13	139.58	806.81	105.10	9,448.77
対応策別除外割合	-	-	-	-	-	20%	5%	65%	1%	8%	1%	-

1. 広葉樹林化した箇所を除外 2. 生育不良の箇所を除外 3. 保育間伐により実施実施済地及び今後実施実施済地を除外 4. 利用間伐により実施済又は予定の箇所を除外 5. 今後5年以内に間伐の必要性がない箇所を除外 6. その他



**【保育間伐】**  
 保育実施の実施に当たっては、広葉樹林化した一部の林分については、侵入広葉樹の育成に重点をおいた施業へ変更し、生育不良の一部の林分については、当分の間必要最小限の保育にとどめるなど施業対象地を厳選した。